

総務文教常任委員会会議録

1 開会の日時及び場所

- (1) 日 時 令和7年9月10日(水) 午後3時30分開会
(2) 場 所 清川村庁舎3階 第2・3会議室

2 委員現在総数 5名

3 出席委員数 5名

- (1) 出席委員 城所英樹委員長・岩澤一幸副委員長
細野賢一委員・細野洋一委員・小林大介委員
(2) 事務局 杉山洋正事務局長、佐藤周平副主幹

4 欠席委員数 なし

5 説明職員 なし

6 傍聴者 なし

7 案 件

(1) 陳情審査について

- ① 陳情第7-6号 消費税のインボイス制度の廃止を求める意見書提出の陳情
② 陳情第7-7号 日米地位協定の抜本改定を求める意見書を国に提出することを求める陳情

(2) その他

8 経 過

- ◎ あ い さ つ 城所英樹委員長
◎ 議 事

(1) 陳情の審査について

- ① 陳情第7-1号 「消費税のインボイス制度の廃止を求める意見書提出の陳情」を議題とし、杉山事務局長から陳情に係る状況等を説明後、陳情に対する意見を求め、討論・採決を行う。

○ 意 見

* 小林大介委員（不採択）

前は、制度導入の延長を求めていたので趣旨了承としたが、制度が開始している中で、廃止を求めるのは難しいと思うので、不採択の意見です。

* 細野賢一委員（不採択）

小林委員と同意見で、制度開始され事業者も対応している中、廃止すると混乱が生じ、改善を求めるのなら理解もできるが、廃止の実現は難しいと思うので、不採択の意見です。

* 岩澤一幸委員（不採択）

税の公平負担を求める目的で導入されたものであり、制度の改善を求めるなら理解できるが、廃止となると難しいのではないかなと思うので、不採択の意見です。

* 細野洋一委員（不採択）

前回の令和4年5月に提出された際も不採択の意見だったが、やはり税負担の公平性の趣旨があることから、インボイス制度廃止には反対であり、本陳情は、不採択すべきものという意見です。

○ 討 論

* 小林大介委員（不採択）

既に開始している制度であり、これに既に対応している事業者たちの混乱を招くということもあるので、現時点で廃止という方向に行くのは適切ではないかなというふうに思います。

確かに意図として、大きな企業と零細企業に全く同じ対応を求めるということは、小さな企業は難しい苦しいという事情があるのは非常によくわかるので、そこは何らかの別の手当というか制度として作ってあげることがあればいいのかなというふうに思います。

本制度単体だけで見るのではなくて、もう少し大きな目線で見るときに、全体できちんと小さな事業者たちも守られるような政治というのが進められることが望ましいかと思いますが、意見としては不採択をお願いします。

* 細野洋一委員（不採択）

このインボイス制度についてはそれぞれ賛成反対の理由があるわけではありますが、先ほども申したとおり、税負担の原則というのは公平な課税ということでありまして、小規模事業者については、色々と問題点が指摘をされていますけれども、政府においては小規模事

業者の負担軽減について支援制度が追加されてることから、インボイス制度の廃止は適当ではなく、本陳情は不採択とすべきと思います。

○ 採 決
不 採 択

- ② 陳情第7－7号 「日米地位協定の抜本改定を求める意見書を国に提出することを求める陳情」を議題とし、杉山事務局長から陳情に係る状況等を説明後、陳情に対する意見を求め、討論・採決を行う。

《休 憩》 午後3時43分
《再 開》 午後3時47分

○ 意 見

* 小林大介委員（不採択）

不採択の意見をお願いします。基本的に国と国との外交問題であり、地方議会において、この問題を精緻に扱うには情報不足であり、多方面にも影響があるということで、地方議会が意見書を出すという審議にはなじまないかなというふうに考えます。

人権問題であるということも非常によくわかるが、日米地位協定単体のみを見ていいか悪いかというだけではなく、外交全体を見ての判断になってくるとと思いますので、単体での陳情については不採択が望ましいのではないかと思います。

* 細野洋一委員（不採択）

本陳情は、米軍関係者による事件事故が発生しており、国内法が適用されないことが抜本的な問題となっているので、国内法を優先する抜本的な改定を求めているものであるが、政府は今、運用の改善による問題解決が合理的であるということで、この運用改善の検討を進めているものと承知している。

県内の事件事故、問題点は理解できるが、日米地位協定は日米安全保障条約第6条に基づいて締結されているということであり、日本の安全保障という高度な政治判断並びに外交交渉に関すること、村議会としての判断は難しいと考えることから、本陳情は不採択とすべきだという意見です。

○ 討 論

* 小林大介委員（不採択）

先ほど意見したとおり、本件については、国と国との外交問題であり、地方議会が扱うべきテーマではないかなというふうに思います。

また陳情書の中でも石破茂首相の話にありますが、自民党の中でも議論するよう指示したというようなこともあるので、これは国政や政権与党が責任を持って判断する方がいいと思いますので、本件に関しては不採択ということでお願いします。

○ 採 決

不 採 択

(2) そ の 他

・特になし

◎ 閉会あいさつ 岩澤一幸副委員長

9 閉会の日時 令和7年9月10日（水）午後3時54分 閉会

上記のとおり相違ないことを証する。

令和7年9月10日

総務文教常任委員会委員長

